

「くらしあためため景気回復を」知事に提案 **日本共産党**

9・10月議会

日本共産党県議団は、7月の知事選挙で再選の井戸敏三知事に対し、自民党の暴走政治から、県民のくらしや雇用を守り、景気回復を行う具体的な提案を行い、実施を求めました。

「ブラック企業」の根絶を雇用守れ

アンケートの声などをもとに、若者を不払い残業や長時間労働で使いつぶす「ブラック企業」の実態を示し、企業の違法・無法な働かせ方の是正と対策を要求。県は、「重要な課題」とのべ、賃金不払い残業の根絶等を経営団体に働きかけることを約束しました。

国会では法案提出。連携してがんばります。



パナニ崎撤退 雇用守る対策を

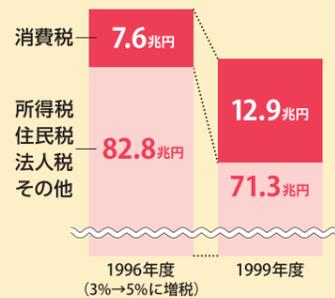
県が約80億円もの補助金を出して誘致したパナソニック尼崎工場が、わずか8年で来年4月に全面撤退へ。日本共産党は、800人の従業員・1066社の取引企業の雇用と営業を守る対策を要求。補助金全額の返還を求めました。

消費増税で景気はどん底 4月実施中止こそ経済対策

安倍内閣と兵庫県の「経済対策」では、働く人の給料は増えず、家計消費支出(神戸市)は今年2月から7月の間で連続マイナス(2人以上上勤労世帯・総務省)。景気はよくなっています。

ここに4月から消費増税で、景気はどん底に。4月からの実施にストップをかけるよう求めましたが、知事は「増税は不可欠」と答弁。

消費増税しても税収減



ムダな道路建設より 老朽化対策を

「アベノミクス」を受けて県は、2450億円もの公共事業を大盤振る舞い。ムダづかいや急ぐ必要のない高速道路建設計画がめじる押しです。

一方、県土木事務所の専門職員などが大幅に減らされ、橋や道路の日常の点検がすすまず、老朽化した橋が台風で沈下し使えなくなる事態が起きています。

日本共産党は、新規建設より老朽化対策と日常の維持管理に力を入れるよう求めました。



1日1万4千台が通行していた県道栗田橋(小野市)が通行止めに。

意見書

放射能汚染水の危機打開を共産党が提案 **可決**

深刻化する福島第一原発の放射能汚染水問題について、汚染水を海洋に漏らさない方針のもと、国の責任で抜本的な対策を取るよう求める意見書が可決されました。

日本共産党

兵庫 県会報告

発行所 日本共産党兵庫県議員団
神戸市中央区
下山手通5丁目10-1
(078) 341-7711 内線5251
2013年秋季号(第153号)

県会議員団

兵庫県議会議員 文教常任委員

きだ 結 ゆい

1970年生まれ。神戸女子薬科大卒。薬剤師。東神戸病院などに勤務。95年の阪神・淡路大震災で被災、医療分野で被災者支援。2011年4月県議会議員に初当選。保育所父母の会会長をつとめる。渦森台在住。家族は夫、小学生の女の子2人。



ブログ



来年度予算編成に向けて政策提言を行う日本共産党(9月)